

クルージング

ウエストビレッジ西側の波止場沿いにクリストファーストリードはある。そこはブラックレガーに身をかけたハードゲイたちが毎夜クルージングする男だけの世界。ロックセックス、そして殺人。それも血が叫びをあげる連続残虐殺人。被害者はすべてゲイ、犯人の手がかりゼロ。ニューヨーク市警察は、その異端の世界に、ひとりの調査官を放つ。



い問題のニューヨーク最先鋭《ハード・ゲイ》の閃光が、'81日本を刺殺する。

アル・パチーノ

ポール・カヴァー
カレン・アレン
リチャード・コックス
ドン・スカルディーノ

脚本・監督 ウィリアム・フリードキン

製作 ジェリー・ワイントロープ
原作 ジュラルド・ウォーカー
撮影 ジェイムズ・コントナー
音楽 ジャック・ニッチェ
演奏 ザ・クリップルズ、ウーリー・デビル
ジャケット、G.I. ジョン・ハイアト
ムーティニー、ラフレード、
マデリン・フォン・リッック
エクスセルト・ジスマンチ

主題歌「イッツ・ソー・イージー」
オリジナル・サウンドトラック/CBS ソニー

CRUISING

LOHMAN PRESENTS
A JERRY WEINTRAUB PRODUCTION



クルージング

オリジナルレザーハット

レーバンのサングラス

黒の皮ジャンパー

黒のタンクトップ

ワークシャツ

鍔打ちのバズバック

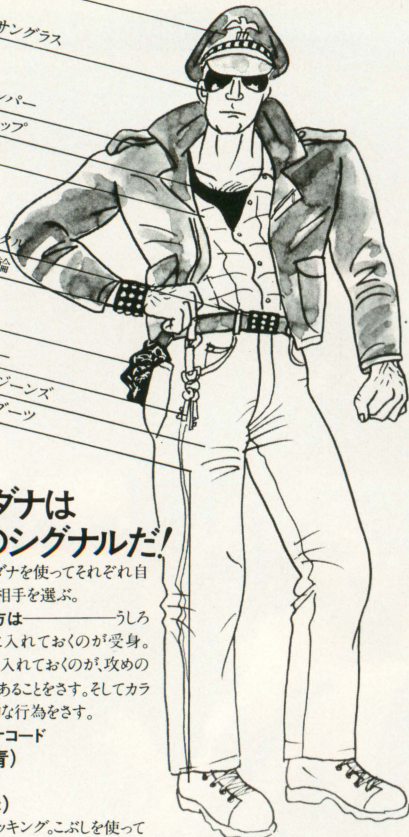
鍔打ちの腕輪

バンダナ

キーホルダー

Levi's 501のジーンズ

皮のワークブーツ



バンダナは ゲイのシグナルだ!

ゲイはバンダナを使ってそれぞれ自分に合った相手を選ぶ。

その使い方は——うしろ右ポケットに入れておくのが受身。左ポケットに入れておくのが攻めの側のゲイであることをさす。そしてカラーは具体的な行為をさす。

●バンダナコード

Blue (青)

フェラチオ。

Red (赤)

フェイスファッキング。こぶしを使ってセックスをする。

Yellow (黄)

小便を飲ませたり、飲んだりする趣味。

Green (緑)

アナルセックス。肛門性交。

衣裳協力・浅草KADOYA

ニューヨーク——そこでいま、いったい何が起りつつあるのか! / 何が噴きあがりつつあるのか!

'80年初頭のアメリカで最も注目すべき事件とまで騒がれたセンセーショナルにして衝撃的映画《クルージング》。あまりにも斬新かつ特異な題材、あまりにもショッキングな描写の恐ろしさで、公開を見合わせていた問題の作品が、全米ロードショーから1年、ようやく日本公開が決定した。

原作(ジェラルド・ウォーカー)が出版された瞬間から、騒然たる話題を投げかけたこの作品は、犯罪都市ニューヨークで、いま絶対無視できない大きな存在になっている《ハード・ゲイ》の世界を扱っている。アメリカでは、ホモのことを一般的にゲイと呼称している。そして現在、法律でゲイを禁止(全米50州のうち26州)しているにも関わらずゲイ人口はアメリカ全人口の2~3%(400万人~600万人)を上まわる勢いという。

たとえば、ディスコ・グループ、ヴァレージ・ピープルの人気爆発の要因には、アメリカのハード・ゲイ・ピープルの魅力を全身で体現しているところにあった。そのファッション——皮ジャンにジーンズ、足元はワークブーツ、キーホルダーのチェーンと色とりどりのバンダナ。それら最新レザー・ファッションのひとつひとつが、ゲイたちにとっては、意志を持った具体的なコードなのだ。

「フレンチ・コネクション」「エクソシスト」の鬼オウィリアム・フリードキン監督が、この特異な世界に踏みこみ、既成の目にとられることのない新鮮な視点から、1962年から1979年までの17年間に、ニューヨークで起きた一連の残虐さきまらない連続ホモ・セクシュアル殺人を真っ正面から描く。

ノーマルな感覚を持った青年警官が、特命を受けて、連続ゲイ・マörderを解決するために、心ならずも異様な性の世界に潜入する。6番街とハドソン河に挟まれ、グリニッチ・ビレッジの中心を東西に走る「クリストファー・ストリート」……。その男だけの性の世界で、青年警官が見たもの、それはいったい何だったのか。

主演に、「ゴッドファーザー」「セルピコ」のアル・パチーノ。エキサイティングな彼らの生態を、ミンク・デビル、ザ・クリップルズ等ニューヨークの新進ロック・バンドが彩り、アメリカ最先端ニューウェーブがスクリーンいっぱい轟くのも注目に値する。(オリジナル・サントラ盤は、CBSソニーより12月中旬発売)

'81陽春、ニューヨーク最先鋭のカルチュア・ショック日本上陸。

興味津々の衝撃的なニューヨークの実態。アメリカ・ツアーでは、絶対見れない、危険で生々しいニューヨークを、「クルージング」は見せてくれる。This is America! 安斎富夫(週刊プレイボーイ編集長)

ベトナム戦争以後の社会的混乱の中で、にわかにはクローズアップされてきた存在、ハード・ゲイ。今の私は、彼らのありように、人間という動物の不思議な情緒的側面を見る。 深作欣二(映画監督)

ブラックなビートが皮ジャンから聞えてくる。これがアル・パチーノのR&Rだ。これもニューヨークの素顔の一つ。生き方に正解はない。 館ひろし(ミュージシャン&俳優)

黒づくめのスタイルで、心を閉ざす、それは、ニューヨークそのものの冬景色。孤独と解放を求めてさまよう、アル・パチーノもまた、この街の旅人。男のヒューマニズムが、ホモ・セクシャルだったとしても、私はあなたを抱きしめてみたい。 吉見佑子(エッセイスト)

荒削りにプチ込まれたBGM。ズサンに見えて、たった1秒の差に神経をがらせた音楽が、たまらない。ハード・ロックとハード・ゲイが融けあって、とてつもない文化が生れたもんだ。 宇崎竜童(ミュージシャン&俳優)

80年代の女たちにとってゲイとは? 増殖する彼等とかに良い関係を保つか? そのためにもこの映画を推したい。彼等は、感性もいし、セックス抜きでつきあえる素敵な男友達になれると思うが……。コスモポリタン誌

黒の皮ジャンパー、皮パンツ、ジーンズの上下に鎖類のアクセサリと彼等の衣装は、見る者をして少なからず戦慄させる。 長濱 治(写真家)

より男を知りたいという好奇心から「クルージング」を観ました。こんな男の世界が存在するなんて、はるかに想像を絶してとても感激しました。

宇佐美恵子(モデル&女優)

タイトルバックをはじめとして映像の一つ一つが、音楽と共に新しい。ハード・ゲイの世界の中に若者一人のあまりにもナイーブな顔がオーバーラップする、両極のイメージの重層に映像の新しさを見る。 黒川雅之(建築家)

新春第2弾ロードショー 新宿京王

伊勢丹斜め向 三越ならび

(356) 3518

オリジナルポスター付
★特別鑑賞券 ¥1,200
(当日一般1500円の他) 発売中!

※上映時間 日・祝 10:45 平日 12:50 2:55 5:00 7:05